Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

パプアニューギニア独立国

― 2015 年度　水産振興・資源管理推進事業 ―

（終了時評価ー2016 年 4 月）

プロジェクトの概要

国　名	パプアニューギニア独立国
プロジェクト名	定置網漁業に関する試験調査プロジェクト
実施期間	2015 年 5 月 13 日～2016 年 3 月 31 日 （覚書調印：2015 年 5 月 13 日）
覚書署名省庁名 及び 事業実施機関	覚書署名省庁　：水産公社（NFA：National Fisheries Authority） 実 施 機 関　：水産公社

プロジェクト実施の経緯と背景

パプアニューギニア独立国（以下「パプアニューギニア」という。）政府水産公社（以下「NFA」という。）は事業計画書(NFA Corporation Plan 2014-2018)において、沿岸漁業の開発による経済力強化、市場へのアクセスや輸送手段の確保等を通した小規模漁業の持続的な発展を重要な施策としている。

2009 年の NFA 長官の日本の定置網視察をきっかけに、NFA は基本方針の一つとして、これまであまり取り組まれてこなかった沿岸部の漁業の振興に力を注ぐことを掲げ、沿岸漁業コミュニティ開発のための新たな戦略として定置網漁業の導入を検討してきた。2013 年 8 月、東セピッ

ク州ウエワクにPNGで初めてとなる定置網がNFAにより設置されるに至った。NFAは定置網の試験操業の結果を基に、他地域への定置網の導入を計画している。NFAは定置網の持続的運営や普及に必要な技術面での支援を2013年6月25日付け書簡により、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に要請した。

財団は、パプアニューギニアと我が国との漁業分野における良好な関係確保の観点からこの要請を受け入れ、2013年11月に覚書を締結後、プロジェクトを開始した。プロジェクトでは、2013年度にNFAが試験的にウエワクに設置した1基目となる定置網の操業訓練を行い、2014年度は2基目となる定置網の操業訓練を行った。これらの操業結果を踏まえて、NFAはパプアニューギニアにおける定置網漁業の普及に係る更なる知見を収集するために、財団に対して新たにモロベ州レイに3基目となる定置網の運営に係る技術支援を2015年4月13日付け書簡により要請し、財団はその必要性を認め2015年5月13日付けで改めて覚書を締結後、プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	パプアニューギニアの沿岸漁業が振興される
プロジェクト目標	パプアニューギニア定置網漁業の振興に必要な人材が育成される
成　　果	定置網の総業を指導できる人材が育成され、運営管理に必要なガイドラインが作成される
活　　動	1. 定置網操業訓練に関する助言 2. 漁獲データの収集及び解析 3. 定置網運営管理計画作成に対する助言及び指導 4. 上記に関連する技術指導

投　　入	財団側 ・専門家： 漁撈専門家 1 名（2015 年 5 月 30 日～2015 年 6 月 26 日） （2015 年 10 月 3 日～2015 年 11 年 13 日） （2016 年 1 月 23 日～2016 年 2 月 12 日） ・主な資機材：　FRP 漁船、高圧洗浄機、エンジンポンプ ・事業費：　15 百万円 相手国側 ・カウンターパート： Coordinator,Fisheries Management Unit, NFA　2 名 （2015 年 5 月 13 日～2016 年 3 月 31 日） ・プロジェクト関連予算、土地、施設等： 定置網等の大型資機材、運営予算、プロジェクト事務所及び倉庫

評　価　事　項

妥 当 性

１．プロジェクトの妥当性

パプアニューギニア政府は地方沿岸漁業の発展を開発戦略に掲げている。特に定置網漁業を沿岸小規模漁業の発展に有効と位置付け、全国（14 州）への普及を計画している。本プロジェクトは、パプアニューギニア沿岸域に設置された定置網による操業訓練に関する助言、漁獲データ等の収集・解析及び関連技術の移転を行うものであり、パプアニューギニア政府の方針に沿ったものである。

２．環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトが対象としている定置網は小型のものであり、周辺の環境に与える影響は極めて小さい。また、定置網は拠点となる岸壁から目視可能な場所に設置されており、常時監視を行っていることから万一の流出等の事故にも直ちに対処することが可能となっている。

３．水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは試験的に設置された小型定置網による操業訓練に関する助言、漁獲データの収集・解析及び関連技術の移転を行うものである。定置網は移動しながら積極的に魚群に働きかける操業とは違い、魚群の来遊を待つ受動的な漁業であり、水産資源に対する負荷は限定的である。

４．その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等を受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

効 率 性

１．資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

本プロジェクトの活動計画策定にあたっては、試験用小型定置網設置の際に事前調査を実施し、現地の対応状況を十分調査した。その後、網の洗浄、海底地形の調査等の実施のタイミングを計画に盛り込み、技術指導、助言の必要性に応じ専門家を派遣した。

２．移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

定置網自体がパプアニューギニアに初めて導入されたものであり、実際の操業に加え陸上での模型作成、講義等の座学により適切なレベルの技術移転が行われた。

３．状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

定期的にプロジェクト関係者ミーティングを開催し、次のとおり活動計画の見直しに係る協議及び状況の変化に応じて活動内容の変更を行った。

メニ（1 基目）定置網コミュニティ（メニ地域の定置網漁業関係者）において、NFA の給与支払いの遅延に一部の漁業者が抗議し操業停止となるトラブルが発生した。そのため NFA、メニ定置網コミュニティ、州政府水産局、財団等の関係者内で、自立運営を行うことを前提とした組織の再編と運営管理及び今後の活動について協議を行った。

また、ウォム（2 基目）定置網についても、メンテナンス技術の不足、不明朗な会計処理のため一時操業停止の事態に陥った。それを受けて、メニ定置網コミュニティから 5 名のテクニカルフィッシャー（習熟技術者）を派遣し、メンテナンス技術に関する支援を実施するとともに、州政府水産局職員を会計担当としてプロジェクトに関与させることで運営管理能力の強化を行った。

プロジェクト関係者会議〔ウォム〕

４．その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

2016 年 2 月にメニ定置網の漁業者 2 名(財団研修事業)及び NFA 職員 1 名が来日し、定置網漁業の海洋実習、網仕立、加工・流通などの研修を行った。研修は英語で行われ、日本での研

修期間中は専門家が同行したことにより研修内容は良く理解された。

有　効　性

１．プロジェクト目標の達成度

１）プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：　パプアニューギニア定置網漁業の振興が図られる

定置網操業のために現地コミュニティにより組織された漁業者グループは、定置網漁業の可能性を確信し、操業試験に積極的に参加している。加えて、パプアニューギニア政府は、自助努力による定置網漁業の運営・普及を目指し、必要な技術支援を受けながら着実に定置網漁業の振興を図っている。

なお、プロジェクト成果を確実にするために定置網コミュニティの経済的な自立に向けた魚加工技術の向上、スモールビジネスマネジメント、網の自主管理等運営管理面への技術指導の重点化が必要である。

メニ定置網では、一部漁業者の作業放棄があり、NFA は無期限で操業を停止させる判断を下したが、コミュニティは定置網からの収入が途絶えたことにより、本プロジェクトの重要さに気付き、早期のプロジェクト再開を希望している。それを受けて、関係者間で再開に向けた話し合いが続けられているが、今回の事態によりパプアニューギニアにおける定置網漁の運営・普及についての多くの教訓を得ることができた。

また、ウォム定置網では、網洗浄メンテナンスの技術が不十分であったこと及び不明朗な会計処理により、定置網コミュニティ内でトラブルが発生する事態となった。しかし、その後、メニ定置網コミュニティから訓練された 5 名のテクニカルフィッシャーを派遣することでメンテナンス指導を行い、財政面の管理に州政府職員を運営委員に組み入れることで運営管理能力を向上させ、より強固な操業体制を構築することができた。

ラブミティ（3 基目）定置網では、上述のトラブルからの経験・教訓を活かし、開始当初から州政府職員を運営委員に入れ、メニからテクニカルフィッシャーを講師として派遣し操業全般に係る技術指導に加わらせるなどした結果、これまで順調に操業されている。

上記のとおり、ウォムやラブミティ定置網の操業指導では、メニのテクニカルフィッシャーが講師として派遣されるなど重要な役割を果たしており、パプアニューギニアにおける定置網漁業の振興を担う人材が着実に育成されていることが確認された。

２）その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

本プロジェクトの実施にあたっては、これまでいくつか発生した問題により、現地の文化・慣習等を考慮した運営体制の確立が不可欠であるということが明らかになった。特に今回のメニやウォムでのトラブルを通して、パプアニューギニアでの定置網漁の運営に係る重要な教訓を得ることができた。

２．プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

＜活動項目＞

(1) 定置網操業訓練に関する助言

カウンターパートは専門家に同行し、プロジェクトサイトで定置網操業に参加し、運営方法に係る指導を受けている。カウンターパートに加え、定置網コミュニティ内の優秀な人材を、他地域への普及の際に講師として派遣するなど、指導的な立場の漁業者の育成を行っている。

(2) 漁獲データの収集及び解析

漁獲、販売、海況等のデータ収集を行うための様式を作成し、カウンターパートを通じ定置網コミュニティに提供し必要な記録を取る体制を築いた。収集されたデータは、カウンターパートが取りまとめを行い、魚種・漁獲の傾向、毎月の販売動向について分析が行われた。

販売データ取集〔ラブミティ〕

(3) 定置網運営管理計画作成に対する助言及び指導

カウンターパート、定置網コミュニティとともに運営委員会を開催し、管理計画案に関する意見交換を行った。

(4) 上記に関連する技術指導

指導分野に応じ、海上での OJT、運営委員会での講習、NFA 本部における運営・普及に係る協議等を通じ、カウンターパート及び定置網コミュニティに対し指導を行った。

＜期待された成果＞

定置網操業に必要な人材が育成され、運営管理に必要なガイドラインが作成される

プロジェクトを通じてカウンターパートは、徐々に定置網漁業の運営・普及に関するノウハウを習得・蓄積することができている。また、定置網コミュニティでは、自分たち自身で日々の操業、定期的な網のメンテナンスを実施するなど自立的な活動がみられるようになっており、着実に人材が育成されている。

埠頭近くでの網洗浄作業〔ラブミティ〕

ガイドラインについては、カウンターパートとともに作成した草案について、関係者会議で適宜見直しを行いながら、その内容について改善作業が行われている。

インパクト

１．プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

パプアニューギニアにおいて、定置網漁業が普及すれば、個々の漁民に多大な漁具調達の負担を課すことなく、共同作業による操業で一定量の漁獲が確保され、沿岸コミュニティの貴重な経済活動となる。

２．プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

定置網漁業においては漁場探索に要する燃油が不要である。また、網揚げ毎に一定量の漁獲物の水揚げが見込まれるため、年間を通してある程度安定した収入が得られることとなる。これは地域経済に直接的に貢献するものである。

３．その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

持 続 性

１．プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

パプアニューギニア政府は定置網漁業を沿岸漁業の振興に有効と位置付け、国内 14 州への定置網の設置を計画している。

定置網の新設の際には、本プロジェクトを通じて技術を習得したカウンターパート及び定置網コミュニティによる指導が期待されている。

供与資機材は、プロジェクト実施地域での操業に活用されるほか新規の漁場調査にも利用され、プロジェクト終了後も有効に活用される。

２．プロジェクト終了後も効果が持続される見込みか

技術を習得した定置網コミュニティは、プロジェクト終了後も独自に定置網操業を継続することが可能で、効果は持続される。定置網コミュニティでは水揚金を銀行口座で共同管理しており、操業資金に充当される。さらに水揚金の一部を定置網等の更新、青少年・女性の育成に用いる資金として積み立てている。

３．その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

定置網の実施・運営に際して、今年度はメニとウォム定置網にて一時的に操業停止状態に陥ったが、定置網操業メンバーを入れ替えたり、州政府との共同管理制を導入したりすることにより、強固な実施体制の構築に向けた教訓を得ることができた。また、ウォムやラブミティ定置網の操業には、メニ定置網で訓練されたテクニカルフィッシャーが講師として派遣されるなど、本プロジェクトにより自立的に操業できる漁業者も一部育っており、パプアニューギニアにおける定置網漁業の持続性について良い影響を与えている。

以上